



第 51 号
 令和6年1月1日
 泉南市 民生委員協議会
民生委員協議会
 児童委員
 会長 杉 本 昇
 編 集
 泉南市民児協広報部会



あけまして
 おめでやうございます

会長 杉 本 昇



一斉改選後、コロナ禍でストップしていた活動が再開しつつあります。

民生委員児童委員の担当区域も確定しました。山本泉南市長と民児協三役の対談を機に、全民児連の「災害時要支援者支援活動に関する指針」に基づき、市長と民児協で協定書を交わり、各民生委員に要支援者名簿の発行に至りました。社協のひとり暮らし高齢者の見守りを基に要支援者の方々も平常時の見守りができるようになり活動範囲が少し増えます。泉南市ケアマネ連絡協議会との交流は、横の繋がりに活動ができたらと進めています。

国連の「子どもの権利条

約」を基に「泉南市子どもの権利に関する条例」施行から11年になります。泉南市青少年センターと各小学校放課後の遊び広場に、主任児童委員・正副地区委員長・児童福祉部会を核に児童委員が、学年の違う子どもたちに接しています。

サッカー・ドッジボール・バトミントン・バスケット・かるたやゲームなどを一緒に楽しみながら、子どもたちとの会話やしぐさ、また相談など気軽に受けられるように、見守っていきたく思います。

良くない情報の多すぎる世の中ではありますが、安全で安心な小学校生活ができるような環境づくりを進めていくことに協力を惜しみません。委員の皆様にも協力をお願いします。

感謝

泉州
ブロック

主任児童委員研修会

昨年6月7日(水)泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)で泉州ブロック(高石市以南の12市町)の主任児童委員研修会が開催されました。本市で開催されるのは7年ぶりで、参加者は8名の会長と72名の主任児童委員でした。

小林ひかる代表の開会の辞を皮切りに、西井美保子副代表の司会で研修が開始され、本市の活動状況を紹介する講演と出席者の参加する演習などを取材したので報告します。

広報部



古藤典子氏



生活の中の子どもの権利

講師の古藤典子氏は長年の幼稚園教諭から教育委員会指導主事に転じられた時に「泉南市子どもの権利に関する条例」の制定にかかわってこられました。

この条例は大阪府の他自治体に先駆けて制定されたものです。



冒頭「ゆつてみいバツジ」を示して「ゆつてみいサポーター」の説明がありました。

子どもにとって「意見を表す権利」は国連の「子どもの権利条約」にも定められています。それを子どもに寄り添う形で、やさしく「ちよっつこ、ゆつてみて」と表わしたものです。次に箱の中から参加者に取り出してもらったサイフ

などの小物について、それらが子どもにとってどのような意味があるのかを考えた演習がありました。

本市の「子どもの権利に関する条例」は国連の「子どもの権利条約」を念頭に置いていますが、この条約の条文の40のアイコンの内、4条文が重要で、4年ごとに調査され、レポートに基づいて勧告がなされるそうです。

「子ども会議」は「子どもの権利に関する条例」の第5条の規定に基づき毎年行っています。子どもたち



主任児童委員
代表
小林ひかる

泉州ブロック主任児童委員研修会を大成功に終えたことを嬉しく思っています。

研修テーマ「子どもの権利条例」は、大阪府内でも初めて泉南市で制定され、11年になります。

月1回の子ども会議は、コロナ禍の中でも毎月行われ、継承され、泉南市の財産



が学校、性別、友達、家族について感じる「なんでやねん」を人形劇などにした動画を見せてもらいました。

最後に「世界の子ども権利かるた」を用い、グループごとに、引き当てたかるたについて話し合い、その結果の発表がありました。

となっております。それを泉州ブロックの主任児童委員の皆さんにも知ってもらい、大きな反響がありました。

古藤先生の優しく、分かり易い口調のご講演、「子ども権利かるた」でのグループワークもよかったとの意見が多数寄せられました。子どもたちの声に耳を傾け、寄り添いながら、この研修会で学んだことを今後の主任児童委員活動に生かしたいと考えております。

部会だより

企画部会

「同心協力」活動

当部会は今期から民児協副会長が出席し、新しい委員も加わって始まりました。

主要活動の一つである民児協総会の企画・準備は皆で意見交換し、万遺漏なきようにと準備を重ね、総会の第二部では、現状の改善方法・有意義な内容の講話を検討しました。

もう一つの活動は、社会福祉協議会・事務局・民児協委員の方々全員に参加いただく管外研修です。行先・日時・企画委員の役割分担を決めました。

今年度は10月18日に「須磨寺（源平合戦の舞台）」、「グリコピア（工場見学）」、「神戸ワイナリー農業公園（醸造施設）」などを巡りました。紅葉には少し早かったですが、天候に恵まれ、懇親が図られ好評でした。

「心をつつにし、協力し合って、団結して事に当たる」という意味の中国の故事に基づく「同心協力」の精神でこれからも良い企画を計画していきたいと思っています。

部会長 中尾 ひとみ

令和5年度 管外研修

10月18日 須磨寺



信達・砂川・一丘

源平の庭



新家・樽井・鳴滝

八角堂・大師堂



雄信・西信達・主任児童委員

子育て支援部会

こんな活動しています

当部会は今年度31名で活動しています。

1月と8月を除く毎月第1金曜日午後、あいびあ泉南で研修を兼ねた定例会を行っております。

7月の研修では、緊急時の乳幼児への対応につ



あいびあ泉南で赤ちゃん教室

て、泉州南消防組合から講義と実習を受けました。

令和4年度の乳幼児の救急出動回数や事故原因などを教わりました。人形を使

ったの救命講習では、にぎやかな中にも真剣に取り組みました。

また、例年どおりに「赤ちゃん教室」への協力も行っております。参加され

た部会員のなかには、孫を抱いたようで嬉しい反面、不安で緊張したとおっしゃる方もおられました。これから部会としてさらにできることを検討しながら頑張りたいと思います。

部会長

木下 比津留

地域福祉部会

原点に戻って活動模索

当部会は、現在20名を超える部会となりました。

長年取り組んできた医療マップ作りは、医療機関の新設、廃止などの変動が激

しく、追いついて行けない状況が続いています。また、利用者の要望をくみ上げて反映させる有効な方法が見いだせないという課題もありました。これらの状況から残念ながら現在凍結しております。

児童福祉部会

学校訪問

当部会の活動として学校訪問があり昨年度も実施されました。老境に身を置く部会員にとつて、ひとときの小中学生たちとの触れ合いは、癒しとともに活力をいただける機会となっております。

また、校長先生との懇談においては、児童・生徒数の減少、教員の不足、いじめ・不登校問題、防犯対策、子どもの個人差に応じた学習面でのケア等数々の

教育現場が抱える課題について忌憚のない意見交換をすることができました。

泉南市は、現在小学校10校、中学校4校があり、それぞれの校区に依じて、歴史・風土等特色のあることも魅力です。いずれの校区においても、子どもたちが地域の人々から愛され守られていることを感じるとともに、礼儀正しく挨拶を返してくれたことに明るい泉南市の未来を垣間見ることができた学校訪問でした。

知久 孝

広報部会

紅葉のように

私は昨年の3月から広報部会の一員となり、会議に参加させていただき

ました。その部会は、各委員から集まった原稿を委員の皆さんに、どうすればうまく伝えることができるのかをみんなで意見を出し合い、編集することでした。初めて参加した私にとつて、そこでの部会

の人たちの熱気あふれる意見交換の様子は驚くことばかりでした。

でも、このような意欲的な会議の場があるからこそ、毎回素晴らしい広報紙ができるのだということを実感しました。

そんな仲間たちと、委員相互の親睦を兼ねた管外研修で、11月28日に京都まで紅葉を見に行ってきました。それぞれ個性豊かな皆さんと一緒に、京都の綺麗な紅葉を観ながら大いに親睦を深めました。私もあの時の紅葉みたいに、広報部会の雰囲気染まっていけるように努力していきたいと思っております。

出口

千寿美



南禅寺天授庵

主任児童委員

研修会に参加して

昨年6月7日、泉州ブロック主任児童委員研修会をあいびあ泉南で開催しました。

泉南市行政経営部人権推進課の古藤典子氏を講師に迎え、「生活の中の子どもの権利く子どもに寄り添い、子どもの話を聴く」をテーマに講話をしていただきました。

子どもたちのとつても身近な「なんでやねん」は、子ども会議で話し合ったことを、人形劇の動画で観せ



グループ発表

てもらい、耳の痛い話に笑いもあり。最後のワークシヨップでの「子どもの権利かるた」では、一枚一枚のカルタを通して各グループでの意見交換、交流が和気あいあいとできたように思います。

改めて子どもの権利について、子どもも大人も共通に理解し、子どもたちの声に耳を傾け、その思いをしっかりと受け止めて対話することの大切さを知りました。

子どもたちが毎日を安心して過ごし、さまざまなことを学び、健やかに成長するためのお手伝いが出来ればと思います。

中村 よしの

地区だより

鳴滝地区

やってみよう

心肺蘇生&AED

当地区の定例会時に「やってみよう！心肺蘇生&AED」をやってみました。

訓練用のお人形とAEDを体験！みなさんなかなか興味津々で、消防署での救命講習の受講経験のある方もまだ経験のない方もわいわいと楽しい体験でした。

心肺蘇生、どの辺をどう押すのか、やってみるとこれがまたなかなかできて、



心肺蘇生&AED

「ふう〜結構しんどいわ〜」なんて言いながら思っていたよりしんどいことを実感！AEDは訓練用なのでビリビリもしないので「失敗しても大丈夫！」思う存分さわってみました。

電気シヨックと聞いてビリビリして怖いものだと思いますが、正しく使えば大丈夫！安全です。いざというときのためになかなか良い経験になりました。

岸 敬子

一丘地区

一丘だんらんひろば

昨年の海の日（7月17日）と山の日（8月11日）にテントを張って、「テントで寝てみよう」のイベントを実施しました。

ミニフリースペースも同時開催しました。両日とも猛暑といつべき暑さで、参加した子どもたちも、暑い暑い連続でした。



テントで寝てみよう

17日のミニフリースペースは来訪者もありましたが、11日は出品者もなく中止となりました。全体的に成功・失敗のどちらかというところ、テントは失敗でした。

今後の予定は、祝祭日はミニフリースペースを開放して、何時でも誰でもフリースペースが出来るように企画していきたいと思っています。

折角URが貸してくれている地域コミュニティなので、もっともっと地域の人たちにアピールして、大人も子どもも気軽に来られるようにしたいと思います。

委員長 滝川 和雄

砂川地区

大正琴でボケ防止

サンプラザ地区で大正琴の活動が始まったのは令和4年5月で、自治会の熟年会会員のYさんが、定年を迎えボケ防止にと大正琴を始め、そのことを知ったハーモニカや琴、ピアノ等を弾く人たちが5名で活動が始まりました。

動をされています。大正琴を弾いて良かったことは、「元気を貰えた」「目・指の運動になった」「ストレス解消になった」など。

月2回集会所で練習し、終わりに課題曲が与えられ自宅で練習します。今回の練習日に課題曲を披露し、成果を確認するといった活

令和5年6月の「七夕まつり」では熟年会は大正琴、児童はリコーダーの演奏会を行い、共に3曲演奏されました。大正琴では演奏に合せ観客が歌い大合唱となり、リコーダーではアンコールの声が上り、演奏会は盛況の内に終了しました。私はビデオ撮影を依頼され、後日の映写会では「孫のことを思い出す」と呟く方がおられました。

菊地 敏男



大正琴練習風景

樽井地区

樽井小学校盆踊り

コロナ禍以来、伝統行事の「盆踊り」が開催されませんでした。樽井青年団主催の事前の打ち合わせでは、樽井小学校で8月13・14日19時から23時に開催、キッチンカーも準備しているとのことでした。

4年ぶりの開催といつこ



盆踊り風景

とで、各種団体への協力依頼がありました。久しぶりの開催だったのですが、各種団体も青年団の熱意に押されて、協力的な良い話し合いができたと思えました。

樽井区定例会で盆踊りの参加をお願いしました。私も娘と孫たちと参加をしました。3人娘ですが踊れなく、樽井小学校出身の私も踊れません。今以上に盆踊りを盛り上げるには、小学校時代に踊りを教えていただけたちらと思えます。

今年は、台風の影響で13日だけの開催でしたが、来

信達地区

初めての研修ツアー

年こそ天気に恵まれて樽井区の伝統である「盆踊り」を継承していつて欲しいと思えました。若い力の青年団に大いに期待したいと思っています。

委員長 牧野 彰一

当地区は6月24日に「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター（神戸市）へ研修に行きました。

好天に恵まれてはいましたが、震災関連資料や体験の展示、震災発生の瞬間をCGなどで再現した映像上映など、心が痛むものばかり

りでした。さうに「語り部」として体験談を話されたのは元神戸市職員の方で、自身が被災者でありながらも市民を護る活動内容に、地震の恐ろしさを再認識させられました。

いま現在も社会は多くの課題や問題を抱えています。この研修をとおして、「助け合いの優しい心をもつ」という大切さを心から実感いたしました。

新任の委員です。まだまだ解らないことは多いのですが、先輩方に教えをいただきながらしっかりと活動してまいりたいと思っております。

仲田 弥寿美



人と防災未来センター

西信達地区

祝 創立150周年

西信達小学校は明治6年（1873年）11月に日根郡泉州岡田小学校として創立され、尋常小学校、簡易学校などと呼び名を変えながら150年という長い間、子どもたちが学び、学校生活を送ってきました。現在は1年生から6年生まで300名ほどの子どもたちが通っています。



西信達地区の子どもたちは、ほとんどが西信達小学校から西信達中学校へ進み、9年間同じ顔ぶれの中で過ごします。そのためか、学年を超えた子どもたち同士の結びつきが濃いうちに思います。高学年が低学年の子どもたちをお世話する、ということがとても自然にできており、素晴らしいことだと感じています。

今年は創立150周年という大きな節目の年でもあり、子どもたちが児童会でオリジナルキャラクター「西だちくん」を考えたり、テレビ取材が入ったりしています。小学生たちは「今日も人文字の練習やった！暑いし、大変や!!」と口々に話していました。その顔が誇らしげだったのがとても印象的でした。今後も地域の子もたちが明るく元気に登校できるよう、近くに住む大人の一人として見守っていききたいと思っています。

村上 あかね

新家地区

避難行動要支援者への理解を深めよう

昨年9月10日、新家小学校において当地区で初めての『新家地区区長連絡協議会防災講話・防災訓練』が開催されました。新家地区の民生委員児童委員も住民



防災講話

の方と一緒に参加し、危機管理課長の「避難行動要支援者と地域防災力の向上について」の講話を拝聴した後、胸骨圧迫等の訓練を行いました。特に民生委員は、市から避難行動要支援者名簿が提供されることか

ら真剣な面持ちで聴いていました。

今後は実際に要支援者の安否確認や避難誘導等の要支援者対策を、各委員が担当地区の自治会等と協議して進めていかなければなりません。

当地区では既にルナリんくう自治会が自主防災組織や民生委員と協議して要支援者の個別計画書を作成し、毎年、要支援者の方も避難誘導訓練に参加しています。

皆さんがお住いの地区にも支援を求めている人がおられると思います。民生委員一人ひとりが要支援者対策の重要性を理解して、地区の皆さんと協力し助け合い、支え合って取り組んでいきましょう。

委員長 豊田 保夫

雄信地区

1年目を振り返って

10月18日に管外研修に参加し、印象に残ったのは昼食時の杉本会長の挨拶で、新人への慰労と激励の言葉

でした。

実は、1年前「2、3軒弁当を配ればいい」と言われて気軽に委員を引受けました。実際は委員会や児童福祉部会への出席、各種研修参加、小中学校訪問、青パト運行等数多くの活動があり、話が違っただけの思いが強い1年でした。

しかし、会長の挨拶に触れ、自分は弁当を配ることに役立っていなかったと痛感しました。改めて、委員としての役割を果たし、地域の福祉に貢献できるように努力したいと思いますので、よろしくお願い致します。

向井 明彦

新任委員紹介

(令和5年8月1日委嘱)

雄信地区
主任児童委員

金田 晴美

お元気ですか！先輩



新家地区 今村 聖司

退任後少しでも地域活動のお手伝いができたらと、それなりに活動しています。

新家東和苑老人クラブ（東和クラブ）では、令和5年4月から自治会等のご協力をいただきながら新東和サロン「わいわい広場」を開設し、みんなでわいわいがやがや楽しく遊んでいます。その内容を少し紹介します。目的として

①老若男女、だれでも自由に参

おめでとうございます
市民表彰 (令和5年11月1日)
田 中 年 美 (雄信)
徳 田 陽 子 (樽井)
藪 内 美 智 (鳴滝)

泉南再発見



加でき立ち寄れる場所

②仲間づくりの場所

③外出機会拡大の場所

等を掲げています。東和苑老人集會場で毎月第1、第3土曜日、午前10時から午後4時までとし、出入りは自由です。コーヒー、お茶は無料で自由に飲むことができます。

また、簡単な遊び道具を準備し、気楽に遊べるようにしています。トランプ、輪投げ、ぬりえ、数独、銘木パズルなどです。中でも数独が一番人気のようです。

まだ1年にもなりません。毎月20人から30人の方に参加いただいております。東和苑の皆さんの憩いの場として長続きすることを願っています。

「茅渟神社」皆さん読めますか？（地元の方は解ると思えますが）

茅渟とは大阪湾の古称です。起源は古事記の「神武東征」です。神武天皇が即位前に、兄と共に「都」とする土地を求めて九州から東征中、生駒の辺で兄「彦五瀬命」と家来が矢でうたれたため、海に退去して腕の傷を洗い流した時、海が血で染まり「血沼海」とよばれるようになりました。

やがて「血」が海岸沿いに繁茂していた「茅（かや）に「沼」が同義語の「渟」に変化し、「茅渟海」になりました。また、大阪湾でたくさん獲れる黒鯛をチヌといいます。

神社は樽井の中央にあり、創建は平安時代中期。天照大神の御子である八王子が祀られています。ちぬ戎としてもよく知られています。

チヌの形のおみくじを釣り竿で釣るのも楽しいです。是非参拝してみてください。いっぱい御利益をいただけるかも？



編集後記

編集後記を書くにあたり、さてなにを書こうか困った私ですが、私以上に原稿を依頼された方は悩まれたのではないでしょう。

記事の内容といえば、部会だよりは活動や研修の報告に關することですが、地区だよりは民生委員の活動や地区の行事だけでなく地域の景勝地や自慢できるものでも良いのでは。たとえば泉南市の木である、信達岡中の鎮守社にある大きな楠、樹齡800年、根元まわり12m、幹回り8.2m、高さ30mの大きな枝をもつ大木、すこし自慢できるのではないですか。

今号の作成にご協力いただいた皆さまに心より感謝いたします。これからも皆さまの活動をしっかりと届けたいと思います。

出口 耕治